

# 令和6年4月の優しさ通信

## 目次

- (1) 🧑🧒 保育所、補助金申請不要に 登園・勤怠のデータ共有
- (2) 🧑🧒 ヤングケアラーに家事支援 来年度から、全国へ拡大
- (3) 🧑🧒 不登校の要因 認識にズレ

## ♥ 4月の福祉用具－福祉住宅改修の基礎知識 浴室



### (1) 🧑🧒 保育所、補助金申請不要に こども家庭庁

#### 登園・勤怠のデータ共有 保育士の働き方改善

- \*2023年1月の保育士の有効求人倍率は3.12倍。全業種平均1.35倍。
  - \*保育士の資格を持つ人は2021年時点で173.1万人。
  - \*10年前から65.5万人増。
  - \*実際に保育現場で働く人は4割未満。
  - \*保育士らは日中に子どもを世話し、夕方以降に補助金申請のための事務作業をすることが多くなります。
  - \*こども家庭庁は保育士の配置を手厚くしたり、専門職員を置いたりする保育所に補助金を上乗せして支給。
  - \*保育所は地方自治体が指定した文書などに人員体制を記入し、郵送やメールで提出する必要があります。
  - \*1人の職員の情報を補助金の申請ごとに何回も書く必要があります。
  - \*全国共通のデータベースをつくり、多くの保育所で使われている業務支援アプリから入力できるようにします。
  - \*保育所が受けられる補助金を自動的に算出できるようにもします。
  - \*2025年度にも全国で基準をそろえます。
- (2024年3月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (2) ヤングケアラーに家事支援

### 来年度から、全国へ拡大

\*こども家庭庁は2024年度から、大人に代わって日常的に家事や家族の世話をする「ヤングケアラー」への家事支援を全国で実施。

\*利用料は1時間当たり1500円。

\*住民税の非課税世帯などには満額を補助。

\*ヤングケアラーの生活を直接支援する国の事業として初めてになります。

(2024年3月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (3) 不登校の要因 認識にズレ

### 「いじめ被害」「教員からの叱責」 子ども、教員の6~8倍

[文部科学省の2023年委託調査]

\*不登校になった要因について、児童生徒が「いじめ被害」や「教職員からの叱責」と回答した割合は教員の6~8倍。

\*教員は「いじめ被害」「教職員への反抗・反発」「教職員からの叱責」との回答がそれぞれ2~4%だったのに対し、児童生徒と保護者は16~44%と大きな開き。

\*児童生徒と保護者の6~7割が「体調不良」「不安・抑うつ」といった心身の不調を要因として挙げた一方、教員は2割弱にとどまりました。

\*不登校の児童生徒は増加傾向。

\*2022年度は小中学校で299,048人と前年度に比べ2割増。

\*文部科学省は、全国の公立小中学校の空き教室を利用して不登校の児童生徒を支援する「校内教育支援センター」を6割増やします。

\*カリキュラムなどで柔軟な対応を認める「学びの多様化学校」(不登校特例校)の設置も促します。

\*スクールカウンセラーやICT(情報通信技術)などを活用した支援を広げます。

(2024年3月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 4月の福祉用具－福祉住宅改修の基礎知識 浴室

### ① スペース

\*浴室面積はできれば 182 cm x182 cm以上は欲しいところです。

\*このスペースがあれば介護者が浴室に入って介助動作をなんとか行えることが多くあります。

### ②浴槽

\*浴槽の出入り動作をどのように行うかを十分に検討します。

\*出入りや姿勢保持に容易な浴槽は和洋折衷式で長さ 120～135 cm、横幅 70～80 cm、深さ 55 cm程度。

\*浴槽が長すぎてつま先が側壁に届かない状態では足が浮き、身体が滑り込み危険。

\*通常、浴槽縁高さは、洗い場床面から 40～45 cmとなるように調整。

\*浴槽縁部分にベンチを置いて腰かけて出入りが可能。

\*立位でもまたげる寸法。

\*シャワーいすや車いす使用の場合は、その座面高さに合わせての浴槽縁高さに。

\*浴槽エプロン部分の厚み（幅）が厚いと、またぎ幅が大きくなり、バランスを崩しやすくなります。

### ③シャワー

\*サーモスタット付き水栓を採用します。

\*シャワー水栓を複数設けることも検討します。

\*一つは高齢者の身体を温めるために、もう一つは高齢者の身体を洗うために。

\*介護者が使いやすい位置に別途設けます。

### ④水栓器具

\*手指のかかり具合などを確認して操作性のよい器具を選定します。

### ⑤高齢者対応型ユニットバス

\*使用対象者を自立歩行が可能な者を想定しているものが多くあります。

\*将来のことを考えて、介護者スペースの検討、浴槽への出入りの方法など具体的に動作を考え選びます。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

